

中学校・高等学校生徒の **科学 研究 論文**(野口英世賞) **受賞者決定** **国際理解・国際交流論文**(朝河貫一賞)

県教育委員会では、科学や国際社会に対する関心と意識を高め、国際性豊かな明日の社会の発展を担う人材の育成を目指して、中学校・高等学校生徒を対象として、科学研究論文野口英世賞、国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の募集を行っています。

第4回目となる今年は、西澤潤一東北大学学長(野口賞)、矢吹晋横浜国立大学教授(朝河賞)を審査員長とする審査員会によって下記の入賞者が選ばれ、11月7日、杉妻会館において県知事・教育委員会委員長出席のもと、表彰式・知事懇談会が行われました。

平成6年度中学校・高等学校生徒の科学研究論文野口英世賞受賞者一覧

中学校

個人研究の部

賞	氏名	学校名	学年	研究論文のテーマ	研究論文の概要
最優秀賞	なんじ じゆんいち 丹治 純一	霊山町立 霊山中学校	2年	竹の中の気体の研究	竹の中の空洞部分にどのような気体があるか調べ、二酸化炭素の存在を確認した。
優 秀 賞	なかしま ちあき 中島 千明	いわき市立 平第三中学校	1年	キンギョの呼吸の研究 －キンギョの呼吸は環境条件とどのような関係があるか－	キンギョの呼吸は環境条件とどのような関係があるかを調べ水温や体の大きさ等の関係をまとめた。
	たきはら かおり 滝原 香	いわき市立 小名浜第二中学校	2年	水面から飛び出す ボールの研究	ボールを沈めた深さと飛び出した高さの関係を調べボールの直径に関係していることを発見した。

共同研究の部

賞	学校名・団体名・代表者名	研究論文のテーマ	研究論文の概要
最優秀賞	福島市立平野中学校 科学部 代表 佐藤 任 (2年)	砂場の大腸菌についての研究 －その現状と対策－	身近な公園の大腸菌による影響を調べるため砂の状況を調べ、かつ大腸菌の除去方法を研究した。
優 秀 賞	船引町立船引中学校 科学部 代表 吉田 理恵 (2年)	合成洗剤と石けんの研究	合成洗剤と石けんの洗浄力の違いや小松菜等の生物に与える影響を調べまとめた。
	いわき市立平第一中学校 代表 酒井佐久也 (2年)	葉書のルーツ「多羅葉」の研究	葉書のルーツ「多羅葉」はどのような条件で字が書けるか実験し、酸化酵素のはたらきを確認した。

高等学校

個人研究の部

賞	氏名	学校名	学年	研究論文のテーマ	研究論文の概要
最優秀賞	かとうの わたる 上遠野 航	県立磐城高等学校	2年	玉山琥珀層の堆積環境について	仮説をたてて琥珀層の成因について検討し、その堆積環境を推定した。
優 秀 賞	かんの けいいちろう 菅野敬一郎	県立保原高等学校	2年	酸性雨の研究 －酸性化した土壌の中和を主として－	土壌の性質を調べ、中和剤による中和効果やイオンの溶出量と肥料との関係などを研究した。
	すずき じゆんこ 鈴木 純子	県立四倉高等学校	3年	液体の粘性係数の測定 －温度による粘性係数の変化－	身近な器具とビデオを用いて温度による液体の粘性係数の変化についてまとめた。

共同研究の部

賞	学校名・団体名・代表者名	研究論文のテーマ	研究論文の概要
最優秀賞	県立保原高等学校 化学部 代表 遠藤 哲也 (3年)	台所用洗剤は金属の腐食をなぜ防止するか	洗剤を加えた場合の酸と金属との反応について研究し、その応用例についても取り組んだ。
優 秀 賞	県立安積高等学校 化学部 代表 薄井 正寛 (2年)	廃コーヒー豆による重金属陽イオンの除去	イオン半径と吸着との関係、吸着と存在する陰イオンとの関係などについて研究した。
	県立湯本高等学校 地学部 代表 瀬谷 揚子 (2年)	いわき市における大気汚染と森林破壊に関する研究	スギ衰退度の調査や簡易風洞実験などから、大気汚染や森林破壊の概念図をまとめた。